

げんろく ひ
元禄碑

- ◇ 指定日 昭和59年1月23日
- ◇ 所在地 館が森
- ◇ 所有者 常運寺

この碑は、江戸時代の元禄年代に鳥居氏が元禄10年(1697年)に建立したもので、田老地域では最古です。

鳥居氏は、元禄の初めのころ尾張の国、^{とりい}鳥居村(現愛知県)から田老に移り住み、漁業・商業・造り酒屋など手広く事業を行い、^{みょうじたいとう}名字帯刀を許されるなど士豪として代々繁栄しました。

鳥居氏には、^{でんえもん}「伝右衛門」・^{しょうえもん}「庄右衛門」・^{はつのじょう}「初之丞」・^{しろうべえ}「四郎兵衛」という4人の兄弟があり、初之丞は八戸に、四郎兵衛は町内の榎内に住んだということです。



縦 162cm 幅 53cm 厚さ 24cm

丁元禄十歳
南無阿弥陀佛
丑四月八日
端殿京光居士
覚明院
鳥居四郎兵衛 施主
鳥居庄左右門同女房
鳥居伝右衛門同女房
大井作兵衛同女房
庄司武兵衛同女房
大志戸弥市郎同女房
伊勢孫吉郎同女房
小林安兵衛同女房
榎内又五郎同女房
苅屋清兵衛同女房
敬白

石碑銘文